

ごあいさつ

1886年の創業以来、ジョンソン・エンド・ジョンソンは幅広い分野で世界の人々の生命と健康に携わってまいりました。現在ではそのネットワークは世界57カ国、約200のグループ企業に広がっています。日本では1961年に事業を開始し、5つのグループ企業を通して製品・サービスをお届けしています。

ジョンソン・エンド・ジョンソンの企業理念である「我が信条(Our Credo)」には、我々が果たすべき責務が示されています。その中でも、地域社会への貢献は、ジョンソン・エンド・ジョンソンにとって特別に大切な責任です。私達が生活し、働く地域社会や、全世界の共同社会に対する責任を果たす目的で結成された、ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会では、国内のグループ企業から選ばれた社員ボランティアが中心となり、有益な社会事業や福祉に貢献するための活動に携わっています。

私達の活動のテーマは「健康」です。ここでの「健康」とは医学的な病気の有無のみをさすものではありません。社会のありかたに人々が大きな影響を受ける今日、社会そのものの「健康」をも問われる時代になりました。NPOなどの非営利団体とのパートナーシップを通して、社会のニーズに適切に応え、人々、そして社会の「健康」に貢献していきたいと考えています。

昨年の初刊に引き続き、今年もまた「ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献レポート」をお届けできることになりました。このレポートを通して、着実にその歩を進めている私たちの取り組みについてご理解いただければ幸いです。

最後になりましたが、日頃からの皆さまの温かいご理解、ご協力に、この場を借りて心よりお礼申し上げます。

ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会
委員長 大瀧 守彦

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケアカンパニー代表取締役

